



聖書箇所：テサロニケ人への手紙第一4章13~18節  
「希望をもたらす『ことば』」



**【1】 終活の先にあるもの**

- ・終活
  - 人生の最期に向けた準備：生きている者の視野から見た「最期」
- ・「生」と「死」
  - 人が越えることができない溝

**【2】 伝えられた「ことば」に信頼する**

- ・テサロニケ教会のクリスチャンの不安
  - 再臨と復活に関する不確かな知識
- ・主から伝えられた「ことば」(Iテサロニケ 4:15)
- ・主の再臨に起こること(Iテサロニケ 4:16)
  - ① 号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られる。  
↓
  - ② まず、キリストにある死者がよみがえる  
↓
  - ③ 生き残っている者たちがよみがえった者たちと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会う。
- ・これら伝えられた「ことば」を受け入れ信じる者
  - 互いに慰め合うことが出来る

**【3】 希望をもたらす「ことば」**

- ・キリストの死と復活を伝え続けたパウロ(使徒 17:3,31)
  - その理由：
- ・復活の知らせは《過去》・《現在》・《将来》に希望をもたらす「ことば」
  - 《過去》 2000年ほど前のキリストのよみがえり (Iコリント 15:20)
  - 《現在》 復活のキリストを信じる者に与えられる新しいいのち (ロマ6:11)
  - 《将来》 キリストと同様の死者の中からのよみがえり (Iコリント 15:12-20, ピリピ 3:20-21)。

▷ 私たちの地上生涯はやがて終わりを迎えます。復活の知らせを聞いた私たちは、復活の希望・天での再会の希望を握りながら、互いに励まし合おうではありませんか。